

# 平成26年度 上田市立菅平小・中学校 学校関係者評価シート

学校教育目標		めざす子どもの姿	重点目標	評価項目	評価の観点	A	B	C	D	
郷土を拓く大地の教育		①自分で考え、判断し、行動できる子ども。 ②自分や友達の良さを認め合える子ども。 ③仲間と協力して課題を解決していこうとする子ども。 ④自らを鍛える逞しい子ども。 ⑤郷土に誇りを持ち、郷土を愛する子ども。		自ら学ぶ・仲間と学ぶ	(1) 自分から進んで学習を進められる児童・生徒になっているか。		○			
				認め合う心	(2) 互いの良さを認め合い、前向きに取り組む集団生活をめざしているか。	○				
				自ら鍛える心と体	(3) 菅平の産業に学び、郷土に生きる人材が育っているか。	○				
領域	対象	評価項目	評価の観点	ご意見		A	B	C	D	
教育活動	学習活動	小中連携の中で学習内容の系統を意識した児童・生徒の学びの質や深化を図るために個に応じた学習指導のあり方を研究する。	① 児童・生徒は、学習に興味を持ち「授業が分かり易い」「興味を持って楽しい・面白い」など、意欲的に学ぼうとしているか。	少人数学習と聞くと、先生方の目が行き届き、同じ時間であれば一人当たりに関わる時間が物理的に増えると考えられる。しかし、それが直接に学力向上に繋がっていないとするには何か原因があるとは思いますが、それに対する具体的な手だてが見えない。ただ、少人数ゆえに自分の立ち位置が幼少から固定化し、そこに安住してしまい向上の妨げとなっていることは理解できる。個人対個人では難しい対応をオープンにできるような雰囲気、仕組み作りを期待したい。  中学校には3年時の進路選択(入試)があることで、学習の意識付けがしやすい環境ではあるが、小学校は難しいことは理解できる。家庭学習の充実を図ろうとする学校の姿勢もわかるが、いろいろな家庭がある中で、周知徹底するのは難しいだろう。スキー活動の時期には難しいが、その時期を外したところで補習などができるのではないかと指導者が見ている前なら、子ども達はできると思う。  中学校の朝部活がなくなった時間を利用することは可能なのかも知れない。そういう時間を利用していくのも一つの方法と思われる。		○				
		各学年の発達に応じた“分かりやすい授業”指導のあり方を研究していく。	② 小・中学校の先生が連携して授業を行っていることで、児童・生徒の学習意欲は高まっているか。		○					
		生徒指導	教師自らが子どもの良さを伝え、児童・生徒の意識を啓発する。		③ 児童・生徒は、各学年の学習内容を理解して、進級・進学への意欲を高めているか。	(この評価項目に関するご意見は特には頂いていませんが、【学校運営】に関するご意見から、学校からの発信には期待を頂いていると考えられます。)	○			
			小中それぞれの段階に応じたコミュニケーション能力や、より良い関わり方を身につける。		④ 学校の授業(教育活動)は、低学年から高学年、小学校から中学校への連携が取れているか。		○			
	キャリア教育	地域との交流を通して、この地に生きることの喜びを実感させる。	⑤ 教師は、授業や学級だよりなどで児童・生徒の良い点、努力している点を積極的に紹介しているか。	社会的に、学力向上への要求は理解できる。そのための取り組みがあることも分かった。しかし、それと行事の削減とは別ではないか。伝統とされている行事には意味があると思う。保護者には実態(学力の現状、社会的な要求など)を伝えた上で問うことが必要なのではと思う。  スキー活動については、子どもと保護者、地域との気持ちの温度差は以前からあった。そのころも簡単に解決するものではなく、実態に合わせて相互に話し合うことで理解し合う努力を重ねていた。そして、この地ならではの自然環境の中で、子ども達が楽しく過ごし、長い人生の中で糧となるように経験や思い出を作れることを期待する。	○					
			⑥ 児童・生徒は、周囲の人々から頑張りを認めてもらうことで、「自分も頑張ろう」と考えているか。		○					
	学校運営	学校作りへの参加	教育課題を明らかにして学校作りに参加する職員。	⑦ 児童・生徒は、友達と協力して、進んで学習活動や行事に取り組んでいるか。	信州型コミュニティースクールを受けた「TEAM SUGADAIRA」の立ち上げは、なかなか大変な努力を要すると思うが、菅平・峰ノ原の地域全体の新しい連携、地域づくりには期待をしている。多くの方に理解を頂き広めていくためにも、じっくりと焦らず進めて欲しい。  学校の様子をPRしていくには、一斉送信システムの「オクレンジャー」という新しいアイテムだけでなく、既存のシステムの「学校ホームページ」なども活用の道が開かれているのではないかと。情報を欲する側も多様化しているため、発信側も多様な手段を講じてもよい。	○				
			菅平小・中学校の教育を考える保護者。	⑧ 地域との交流(体験や作業を含む)は、子どもにも菅平の素晴らしさを伝えているか。		○				
			協力し合えるPTA。	⑨ 児童・生徒は、菅平についての学習や栽培・体験活動などを通して、地域に育つ喜びを感じているか。		○				
	その他	楽しい学校生活	⑩ 先生は、児童・生徒の様子に目を配り、一人ひとりの目標や課題について支援しているか。	⑩ 児童・生徒は、毎日楽しそうに学校へ通っているか。	(この項目に関するご意見は特には頂いていませんが、継続して、子どもにとって楽しい学校であることを願われていることが、懇談から感じられました。)	○				